

令和7年度第2回鴻巣市コウノトリの里づくり連絡会

日時：令和7年7月24日（木）

午後2時00分～

場所：コスモスアリーナふきあげ 会議室

次 第

1 開会

2 議題

（1）市の鳥指定について

3 意見交換

4 その他

5 閉会

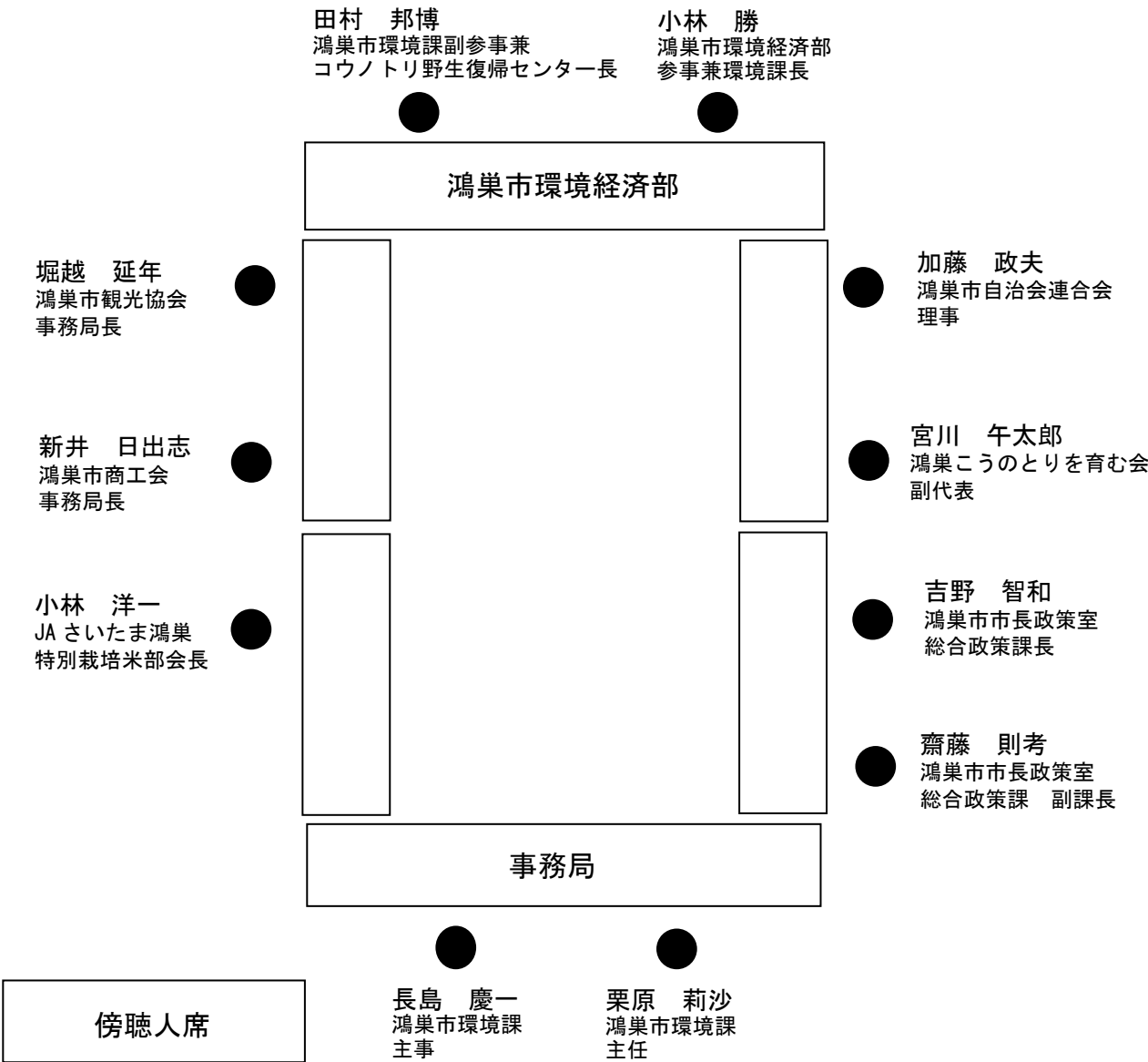
令和7年度 第2回鴻巣市コウノトリの里づくり連絡会

座席表

日時：令和7年7月24日（木）14：00～

場所：コスモスアリーナふきあげ

入り口



市の鳥の指定について



【目的】

本市の地名の由来の一つとも言われ、昔から馴染みの深い「コウノトリ」が棲める環境づくりは、市域全体に拡大しており、2030年のあるべき姿として「人にも生きものにもやさしい コウノトリの里 こうのす」を掲げる本市のSDGsの取組についても、各種事業を展開するなど、市内外へのPRは着実に前進しています。こうした機会を捉え、合併20周年を迎えることを契機に、コウノトリを「市の鳥」に指定することで、「コウノトリ」を核としてシティプロモーションに取り組むことにより、市民のシビックプライドの醸成へとつなげていきます。

令和7年7月24日 鴻巣市市長政策室総合政策課



鴻巣市では、合併20周年を記念し、令和7年度に市の鳥を「コウノトリ」に指定する予定



【指定理由①】

鴻巣の地名の由来の1つ「こうのとり伝説」



▲毎年10月に「おおとりまつり」で実施する「こうのとり伝説パレード」

鴻巣市と「コウノトリ」は古くから縁があり、市内にある鴻神社では、「コウノトリ」が産んだ卵を狙った大蛇を退治したことで、平和な日々が続いたとされる。「こうのとり伝説」が伝わり、一説では、市名の由来とも言われている。

【指定理由②】

昔から馴染みのあった「コウノトリ」

市内では、様々な場所で「コウノトリ」にちなんだモノを見ることができ、市民の皆さんに馴染み深いものとなっている。



▲モニュメント
(鴻巣駅東口)



▲旗
(おおとり商店会)



▲「こうのとり通り」の看板
(三谷橋大間線の一部区間)



▲花壇
(鴻巣駅東口エルミパーク)

▲デザインタイル

【指定理由③】

コウノトリの飼育・「天空の里」オープン

令和3年10月に埼玉県
県立動物自然公園
からコウノトリ2羽を譲
り受け、飼育を開始し
た。その後、オスは「空」
メスは「花」の愛称で親
しまれ、市民の皆さん
の身近な存在となっ
ている。



令和4年1月に、コウノトリを飼育するための施設として、コウノトリ野生復帰センター「天空の里」を開設し、定期的にマルシェ等も実施している。

【指定理由④】

SDGs未来都市認定・各種SDGs啓発活動

令和5年8月に「人にもいきものにもやさしいコウノトリの里 こうのす」を2030年の将来ビジョンとして掲げる「鴻巣市SDGs未来都市計画」を策定し、各種啓発活動を実施することで、徐々にコウノトリをシンボルとしたSDGsが浸透している。



★SDGs未来都市に選定(R5.5月)

「コウノトリ」をシンボルにSDGsを推進し、豊かな自然環境づくりをベースに経済面・社会面との好循環の創出によるまちづくりを目指している。



★SDGs未来会議を開催(R6.7月)

市内の8中学校から選出された生徒が、持続可能な鴻巣市について考え、市への提言や自分たちの学校におけるSDGs宣言のプレゼンテーションを実施した。



★地方創生SDGsフェス(R7.5月)

EXPO2025大阪・関西万博にて開催された「地方創生SDGsフェス」にブース出展し、国内外に「コウノトリ」をシンボルとしたまちづくりのPRを行った。

【市の鳥を「コウノトリ」に指定している自治体】

★全国で3市+兵庫県の合計4自治体

兵庫県(昭和40年指定)

主な 制定理由	・県民に広く知られて愛されている ・県下に住んでいる ・豊産物に被害を与えない
------------	---

兵庫県豊岡市(平成19年12月)

主な 制定理由	・昭和46年に野生絶滅した際の、日本における最後の生息地 ・野生復帰させる取組を長年実施
------------	---

福井県越前市(平成24年7月)

主な 制定理由	・平成22年に40年ぶりに飛来 ・平成23年に全国初となる飼育開始 ・市民と協働で保全再生取組を実施
------------	--

徳島県鳴門市(平成30年1月)

主な 制定理由	・平成27年に巢作り開始を確認され、平成29年2月に産卵、同年3月にヒナが誕生し、鳴門の空に羽ばたいた
------------	---

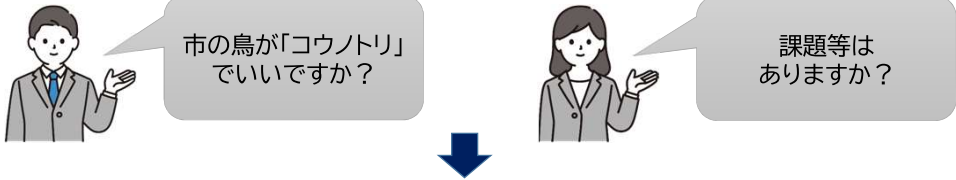
【埼玉県内で「市の鳥」を指定している自治体】

★埼玉県内の40市中「16市」が指定

鳥の種類	自治体
カワセミ	さいたま市見沼区、戸田市 北本市、富士見市、日高市
ヒバリ	熊谷市、所沢市、入間市
シラサギ	さいたま市緑区
雁(かり)	川越市
オオルリ	秩父市
うぐいす	飯能市
ユリカモメ	春日部市
おなが	狭山市
シラコバト	越谷市
ハクセキレイ	八潮市
カイツブリ	三郷市

市の鳥を「コウノトリ」に指定することに伴い、たくさんのご意見をお願いします！

① 市の鳥を「コウノトリ」に指定することについて



② 市の鳥「コウノトリ」を活かした今後のまちづくりについて

★コウノトリを活かした地域の活性化



高校や大学、協定締結先などのステークホルダーと連携した各種事業の企画や、「こうのとりブランド」をキーワードとした「コウノトリ関連商品」の販路拡大等を行い「コウノトリの里 こうのす」のPRを行う。

- ★地域振興
- ★観光誘致
- ★地域ブランド
- ★交流イベント
- ★地元産品への関心喚起

など



環境課
コウノトリの里づくり事業

資料 2



飼育しているコウノトリ
左：空（♂） 右：花（♀）

センターではコウノトリの生体展示を行うほか、子どもたちの環境学習や、コウノトリをシンボルとしたまちづくりの拠点となる施設です。
 （令和4年1月29日から一般公開を開始）▶

コウノトリ野生復帰センター 天空の里

◀つがいのコウノトリを飼育し、繁殖させたコウノトリを放鳥してコウノトリの野生復帰に貢献すること、またコウノトリも生息できる自然環境づくりを進めることを目的に建てられました。



1

環境課
コウノトリの里づくり事業

**令和5年8月に
来館者5万人達成！**



令和7年6月末時点の来館者数は80,886人

コウノトリに関する啓発活動



関東自治体フォーラムによるジャパンバードフェスティバルでの啓発活動

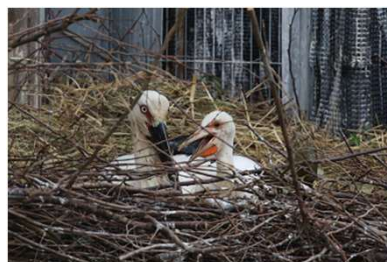
2



環境課 コウノトリの里づくり事業

コウノトリの飼育・繁殖・放鳥

繁殖・放鳥を目指して取り組んでおり、2025年の繁殖シーズンでは産まれた卵が無精卵だったため、IPPM-OWSの放鳥計画に沿って、托卵に切り替えました。残念ながらヒナが全て亡くなり、放鳥は叶いませんでしたが、次のシーズンへ向けて事業に取り組んでいます。



3



環境課 コウノトリの里づくり事業

自然と共生する環境づくり



◀湿地再生地を整備し、放鳥後のコウノトリが餌場として利用できる場所を増やしています。

田んぼの夏期湛水管理・冬期湛水管理・通年湛水管理の実施を補助し、生物多様性の保全にも努めています。▶



4

環境課 コウノトリの里づくり事業

自然と共生する環境づくり

12 自然環境の保全

13 自然環境の保全

16 自然環境の保全

こうのとり伝説米の活用、
地元産農産物使用店奨励金の支出



こうのとり伝説米は、減農薬・減化学肥料栽培で作られた環境にやさしいお米。結婚祝いや出産祝いの際にプレゼントしているほか、学校給食でも食べられています。子どもたちにも大人気。▶

◀令和5年度・6年度と連続して野生のコウノトリが市内に飛来。



5

環境課 コウノトリの里づくり事業

にぎわいのある元気なまちづくり

8 地域経済の活性化

11 地域経済の活性化

17 地域経済の活性化

こうのとりブランド商品の開発補助、
周知による地元業者の応援










6



コウノトリ商品マップ

環境課 コウノトリの里づくり事業

にぎわいのある元気なまちづくり

8 農産物の
販売促進
11 農産物の
加工・流通
17 環境
まちづくり
このとりマルシェの開催によるにぎわい
創出、このとりブランド商品の周知

7

環境課 コウノトリの里づくり事業

笑顔が輝く担い手づくり

4 環境
教育
8 農産物の
販売促進
17 環境
まちづくり
市民参加型の生きもの調査も実施。

8



環境課 コウノトリの里づくり事業

笑顔が輝く担い手づくり



施設見学の受入、小学校でのゲスト
ティーチャー授業の実施、中学生職
場体験の受入など



9